2017年9月号「vol.87」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

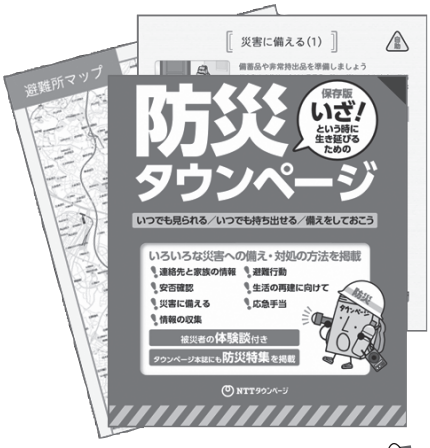
あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

災害に備えての情報盛った冊子を作り配布
神奈川県でさまざまな防災対策事業を実施

地震や火山噴火、風水害などが多発して〝災害大国〟といわれたりしている日本では、国や自治体が対策に力を入れており、特に関東大震災にちなんで「防災月間」に定められている9月にはさまざまな催しが繰り広げられます。神奈川県では毎年9月1日、自治体、警察、消防、赤十字社、医療機関など約100の機関が参加しての全国的にも大規模となる防災訓練「ビッグレスキューかながわ」が実施されていますが、今年は国や首都圏の都県、特別市などが一緒に行う第39回九都県市合同防災訓練として小田原市などで展開されます。



県ではほかにもさまざまな防災事業に取り組んでいますが、新しい事業として今年度には、市民が災害に備えて知っておくと便利な情報を満載した冊子「防災タウンページ」を作り、配布することにしています。災害発生前後のとるべき行動をイラストを交えてわかりやすく伝える防災啓発ブックといったもので、NTT防災タウンページと一緒に配られます。横浜市と川崎市では2016年度に作製・配布されていますがこれと同じ内容のものを作り、両市以外の県内の約465万世帯・事業所に配られます。サイズはB5判で20ページ前後（避難所マップのページ数などで違う）。秋以降に配布の予定といいます。

新規事業としては厚木市下津古久にある県総合防災センターで、1995年に設置して以来、初めてとなる大規模なリニュアルが行われます。地震、風雨、煙などの体験施設がありますが、起震施設と映像を組み合わせるなどよりリアルな体験ができるものに改良されます。完成予定は来年3月末です。

県では年度を通じてさまざまな防災訓練を実施しています。土砂災害（6月）、高圧ガス地震防災緊急措置（10月）、富士箱根火山（10月）などですが、今年は国と共同で11月9日に藤沢市で「国民保護共同訓練」も行われます。国、県、市町村、警察、自衛隊や他の防災機関が参加し、緊急対処事態対応への能力向上を目指したものといいます。防災への関心がさらに大切な時代を迎えているようです。

コレが言いたい！

磯子区で2年毎に行っている民意識調査（H27年度版）では、66％の方が「地域の防災訓練に参加すること」は重要であると回答しているものの、「出来ている」と答えたのは18％に留まっています。災害時には、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要ですので、地域のみなさんが助け合って災害を防ぐよう、日頃から地域で行われる防災訓練に参加する事が大切です。

今月のひと言

9月15日から17日に「ベトナムフェスタin神奈川2017」が開催されます。日本とベトナム外交樹立45周年という節目を迎え、過去最大級の規模で実施されます。今回は会場を県庁本庁舎や日本大通り・象の鼻パークに加えみなとみらいエリアに広げ、飲食ブースを1.5倍に拡大します。

磁子 あれ？これ？

鎌倉御家人 平子（たいらこ）氏

「吾妻鏡」にも登場する平子氏は、鎌倉時代から戦国時代初期にかけて磁子区の北部、中区、南区を領地として支配していました。

平子氏の出自は、一説によると武蔵国を拠点としていた同族武士団の一派である横山党の出と言われてきました。しかし、山形県長井市の平子家所蔵の文献によると、三浦半島を本拠とした三浦一族の出であるとの説が有力となっています。

治承4（1180）年、源頼朝の旗揚げのとき平子右馬允有長は頼朝軍に付き、宗家である三浦氏の推挙により頼朝の御家人となります。その後、寿元2（1183）年に磁子の真照寺の再興と武の神を祀る毘沙門堂の建立を手掛け、源平の合戦に出陣して平家討滅の戦功をあげました。有長出陣中の元暦元年（1184）に真照寺は再興され、平子一族の菩提寺となりました。その後、有長は弟（経長）に領地（平子郷）の一部、本目（本牧と石川）の二村を譲与しました。承久3（1221）年、承久の乱がおきると平子一族は幕府軍に参加して再び戦功をあげました。

この功績により、経長の子（経季）は越後国（新潟県）山田郷での新補地頭職を任じられました。また、経長の孫（重経）も周防国内（山口県）に領地を賜り、平子氏は周防地方にも広まり、一族の繁栄の礎となりました。

真照寺の本堂には有長の影像とも言われている等身大の毘沙門像が安置されています。

参考資料：磁子の史話・平子氏ホームページ

活動報告

8月8日(火)、神奈川県がん撲滅議員連盟が支援する「新日本プロレスがん撲滅チャリティー試合」が行われました。

新日本プロレス 棚橋選手と

8月21日（月）から23日(水)まで、環境農政常任委員会で県外調査を実施。北海道の石見沢市が取り組むITC農業や北海道フードコンプレックス国際戦略特区にある江別市の「北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 食品加工研究センター」、「日本CCS調査株式会社」など5箇所の調査を行いました。

食品加工研究センター

石見沢市自治体ネットワークセンター

北海道 PCB 処理事業所

日本 CCS 調査株式会社

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成27年4月 県議会議員2期目当選
- ●環境農政常任委員会委員
- ●社会福祉審議会委員
- ●社会問題対策特別委員会副委員長
- ●政務調査会副委員長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600